

馬詰研究奨励賞海外研修等実施報告書

令和 5年 12月 4日

工 学 研 究 科 長 殿

所 属： 材料工学 専攻
課 程： 博士後期課程 3 回生
氏 名： 宮本 真之

研修の目的	工業電解プロセスに関する研究遂行とさらなる発展のため、電解プロセスの専門家である Joris Proost 教授ならびにその研究グループとの意見交換および国際研究交流を目的とする。		
研修の期間	2023/11/14～2023/11/27		
研修の実施先	日程	滞在地	研修実施機関名等（指導教員名）
	2023/11/14 ～2023/11/27	ベルギー、 ルーヴァン・ ラ・ヌーヴ	Université catholique de Louvain (Joris Proost 教授)
研修の概要	工業電解プロセスにまつわる研究課題の遂行ならびに周辺分野の理解を深めるため、訪問先研究室の研究チームと種々の電解プロセスについて情報交換し、議論を交わした。また、滞在先での日々の生活や研究チームとのディスカッションを通して、英語で円滑にコミュニケーションを行う能力の向上を目指した。		
研修の成果等	滞在先研究室が取り組んでいる複数の研究課題について、ディスカッションや実験設備の見学を通して理解を深め、新たな研究展開のヒントを得た。電解精製に関する自身の研究内容を発表するセミナーを実施し、滞在先研究室のメンバーらとディスカッションする機会を得た。また、海外研究機関における研究風土を身をもって体感することで、自身の研究環境や日本での研究室運営を客観的に捉えることができた。		
その他 ※本海外研修経験による将来の抱負等	短い研修期間であったものの、欧州研究機関における研究風土や、国境を超えた研究者間のつながりを感じた。このような環境に身を置くことは大変刺激的な経験であり、今後の国際交流のモチベーションとなった。今回の経験をともに、国際的に活躍できる研究者を目指して励みたい。		